

やさい週間情報(第39号)

平成30年 1月12日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	3,500~3,400	3,500~3,400	-	1本売り (2L・L) 398~298円	北海道、本県産ともに年明けからの入荷は少なく、流通在庫も幾分整理されてきている。引続き入荷比率の低いL級以下については引合いがあり、太物については多少動きがでているものの依然として荷動きは鈍く、総じて保合での販売となっている。また、各等階級の価格差がないうえ、量販店での売価には変動がないことから出回り量の多いA・B品を中心に荷動きはあるものの、C品については若干荷動きは鈍化しつつある。 秋冬野菜の入荷も品目によっては回復傾向にあり、徐々に量販店での売り込みも活発になることが見込まれる為、引続き、都内量販店で販促活動を促し、売場の確保および荷動きの良化に努める。
		A3L	3,500~3,400	3,500~3,400			
		A2L	3,600~	3,600~			
		A L	3,600~	3,600~			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,500~3,400	3,500~3,400			
		B L	3,500~3,400	3,500~3,400			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		C L	2,800~2,600	2,800~2,600			
名古屋	本県産 北海道産	A4L	3,500~	3,500~		1本売り 398~298円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 果菜・根菜類中心に寒波の影響で流通量が少なく品薄高が続いている中で、ながいもについては、安定した入荷が続いたことから、特売等の企画販売も取組まれている状況にあり、厳寒期で末端消費の減退時期ではあるものの、安定した荷動きが続いている。 引続き、量販店では安定性のある貯蔵品目主体の企画販売が取組まれることから、売場を維持するためにも安定した出荷が肝要である。
		A3L	3,500~	3,500~			
		A2L	3,500~	3,500~			
		A L	3,500~	3,500~			
		A M	3,200~	3,200~			
		B4L	3,300~	3,300~			
		B3L	3,300~	3,300~			
		B2L	3,300~	3,300~			
		B L	3,300~	3,300~			
		B M	3,000~	3,000~			
		C2L	3,000~	3,000~			
		C L	2,800~	2,800~			

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L	3,500~3,300	3,500~3,300		カット 78~58円/100g 2L~L1P 298円/本	北海道産および本県産の販売。 葉菜類を中心に他品目の入荷が不安定であることから価格が高騰しているため、量販店のながいもの売場スペースは厳寒期であるにもかかわらず広く確保されている。また、特売等の動きが活発であり、年末に比較すると荷動きは良化してきている。 来週についても、北海道産・本県産とも入荷量は少ない見込みであるが、消費宣伝等を活発に行い、需要喚起を図っていきたい。
		A3L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		A2L	3,800~3,500	3,800~3,500			
		A L	3,800~3,500	3,800~3,500			
		B4L	3,300~3,000	3,300~3,000			
		B3L	3,300~3,000	3,300~3,000			
		B2L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		C2L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		C L	2,600~2,500	2,600~2,500			
九州	本県産	A4L	3,800~3,600	3,800~3,600		カット 100g 78~58円	年明けの週でもあり、本県および北海道産の入荷量も少なく、価格は概ね保合傾向で推移している。 しかし、九州管内も降雪になるなど気温が極端に低く、寒い日が続いていることから荷動きは鈍い。 今後は太物を中心に価格を徐々に下げ、やさいの価格が高騰している品目が多い中、今月から消費宣伝を実施し売場の確保・拡張を図る。
		A3L	3,800~3,600	3,800~3,600			
		A2L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		A L	3,300~3,200	3,300~3,200			
		B4L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B3L	3,500~3,300	3,500~3,300			
		B2L	3,300~3,200	3,300~3,200			
		B L	3,200~3,000	3,200~3,000			
		C2L	3,000~2,800	3,000~2,800			
		東北	本県産 北海道産	A4L			
A3L	3,500~3,400			3,500~3,400			
A2L	3,500~			3,500~			
A L	3,800~3,500			3,800~3,500			
B4L	3,200~3,000			3,200~3,000			
B3L	3,200~3,000			3,200~3,000			
B2L	3,300~3,200			3,300~3,200			
B L	3,300~			3,300~			
C2L	3,000~2,800			3,000~2,800			
C L	2,500~			2,500~			

品名 にんにく No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	2,300~2,200 1,800~1,700 1,600~1,500	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	<p>年末以前より入荷量が少ない状況が続いているが、年末年始の荷動きはまずまずで相場については保合での推移となっている。引続き 2 L 級については出回り量の少なさから引合いが強い反面、M 級については販売苦戦が続いており弱含みの相場展開となっている。</p> <p>来週以降、CA 庫への入庫も始まるものの、徐々に流通量の増加も見込まれ、L・M 級については一段下げでの販売が予想される。そのため産地状況の情報共有を図り、状況にあわせた価格設定を行いながら売場の拡張や荷動きの良化に努める。</p>
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,400~ 2,000~ 1,800~ 2,200~ 1,700~ 1,600~	2,400~ 2,000~ 1,800~ 2,200~ 1,700~ 1,600~		L 1 P 298~198 円	<p>本県産中心の販売となっている。</p> <p>入荷量の少ない状況が続く中で、量販店の売場を占める L 級中心に安定した荷動きが続いているものの、M 級については、企画販売の少なさと入荷割合の高さから荷動きは緩慢な状況が続いている。</p>
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,200~2,000 1,800~1,600	2,500~2,300 2,200~2,000 1,800~1,600		L 1 P 298 円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>今週は管内への入荷が少なかったため、引続き、堅調な販売となっている。また、現状の入荷量が年末までの入荷量まで回復しておらず、品薄感もあることから、流通在庫の整理が進んでいる状況となっている。</p> <p>今後は、CA 入庫が開始されつつも、市場出荷量は増えるとの見通しであるが、品薄感が解消されるまでは保合での販売となる見込み。</p>
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,000~1,800 1,700~1,500	2,400~2,200 2,000~1,800 1,700~1,500			<p>本県産の流通量が一定量となっていることから、市場在庫もなく、価格は保合で推移している。</p> <p>来週からガス冷および氷温庫への入庫も始まり、市場流通量は減少傾向が見込まれるが、野菜全般に高値で推移していることから、反動がでる場面もあると思われる。</p>

品名 に ん に く No. 2

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,300 2,000~1,800 1,700~1,600	2,400~2,300 2,000~1,800 1,700~1,600	なし	L 1 P 198 円	今週より入荷が再開となったものの、各社手持ち在庫が少なく、2L・L級を中心に市況は強保合推移となった。 来週については、引続き東北管内への入荷量は増量とはならず、価格についても保合となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 1

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 茨城県産	本県産 (10K) A 2 L A L A M (4K) A 2 L A L A M	1,600~1,400 2,000~1,800 2,200~2,000 500~ 800~ 700 900~ 800	1,600~1,400 2,000~1,800 2,200~2,000 500~ 800~ 700 900~ 800		L 1 本 168~198 円	本県産中心に茨城県産の販売となっている。 年始の入荷がほとんどなく、年末入荷分の販売が中心となった。12月上旬以降、入荷が落ち着き、年末年始の数量確保が不十分な状態で経過したこと相場の底上げとなったが、実際は想定していた荷動きとはなっておらず、概ね年末から保合での販売となっている。 各社の在庫状況は多いわけではなく、その中でも販売の中心であるL・M級については特に少なく出荷要望は強い。今後の出荷量もそれほど多くない見込みのため、状況を見極めながら柔軟な価格設定を行い、売場確保、荷動きの良化に努める。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S	2,000~1,800 2,500 1,800~1,600 1,300~1,200	2,000~1,800 2,500 1,800~1,600 1,300~1,200		2 M 2 本入 198~158 円	本県産・九州産（新ごぼう）中心の販売となっている。 管内の売場を占める2M級を中心とした細物は、年末・年始需要から流通在庫が少なく引合いは強まっている状況である。 今後、九州産新ごぼうの流通量が増加する中で、本県産の売場確保するためにも安定した出荷が肝要である。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 関東産 九州産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,200~1,000 1,400~1,200 2,000~ 2,200~ 2,500~ 1,800~ 1,500~	1,200~1,000 1,400~1,200 2,000~ 2,200~ 2,500~ 1,800~ 1,500~		2 M ハーフ 158~138 円 / P S 2 P 198 円 / P	本県産・関東産と九州産（新ごぼう）の販売。 本県産・関東産とも入荷量が少なく、加工業務向けの太物については荷動きが鈍化してきているものの、それ以外の量販店向けの階級では気温の低下から引合いは強い状況となっている。ただ、末端売価が高いままであるため、今後、需要が落ち着いていく懸念がある。 来週についても、量販店向けとなるM・2Mを中心に引合いは強いものと想定され、全体的には保合での販売となる見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	1,700~1,500 2,300~2,100 2,600~2,400	1,700~1,500 2,300~2,100 2,600~2,400		2 P 198 円 ~ 158 円	年末年始の需要から、価格を上げたものの業務・加工筋からの引合いが強く、市場在庫はほとんどない。 葉菜類を中心に、寒波の影響から価格が高騰している品目が多く、ごぼうも品薄感から引合いが強い。 九州管内からの洗いごぼうの流通が増えるのは、今月末からの見込みとなっていることから、L・M・2M級を中心に価格は保たれる見込み。
東北	本県産	4 k g A 3 L A 2 L A L A M	400~ 600~500 800~ 900~800	400~ 600~500 800~ 900~800			本県産中心に一部九州産の洗いごぼうの販売。 今週より入荷が再開となったものの、入荷量少なく引合いの強い状況となっている。ただ、末端の動きは極端に良いわけではなく、九州産の洗いごぼう等の入荷もあることから、市況は保合推移に留まっている。 来週についても、入荷量の増加は無いことから、市況は保合推移の見込み。